

(第2号様式)

鏡 特 第 2192号
令和6年 2月28日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立鏡が丘特別支援学校
校長 上運天 滋
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和5年7月6日	場所	本校会議室	出席 状況	評議員:4名出席(1名リモート) 本校職員:9名
第2回	日時	令和5年11月28日	場所	本校会議室	出席 状況	評議員:5名出席(1名リモート) 本校職員:9名
第3回	日時	令和6年2月6日	場所	本校会議室	出席 状況	評議員:5名出席(1名リモート) 本校職員:9名

2 学校評議員に求めた事項

〈第1回〉「令和5年度学校経営方針」、「1学期の学習活動」等についての説明、感想、ご意見を伺った。
〈第2回〉「2学期の学習活動」「学校評価、保護者記述欄」などについて感想、意見を伺った。
〈第3回〉「3学期の学習活動」、「進路指導の取り組み」「学校評価の改善策」などについて感想、ご意見を伺った。

3 学校評議員の意見

・教科の取り組みが素晴らしい。高等部は卒業後に向けての学習も入っている。私たちの事業所は冲国大と契約し、大学でのトイレや食事の介助を行っている。鏡の卒業生が冲国大でいろいろ新しい取り組みを行ってくれている。皆の希望になっている。一人暮らしをしている卒業生「寄宿舍で学んだことをやっているだけだ」とのこと。寄宿舍で培ったことを生かして生活している。
・医ケアは一人でも事故が起きてしまったら医ケアは止まる。安心安全が第一。保護者は子ども第一なので、長い文章を書いてきている。それだけ期待しているということ。
・社会に開かれた教育課程に関しては、その意義や意味について教師の中にしっかり落ちていないのではないか。教師同士が情報共有するしくみを。様々な取組が点であって面になっていない印象。そこを面にしていく仕組みを考えていくことが大事。同じようなことをそれぞれが取り組んでいるので、教師間で共有していくことが働き方改革になる。

4 学校運営に反映した事項

・現在実施している医療的ケア体制の再点検を行い、安全な実施に向けて確認事項等を強化。
・授業・教材のアイデア等の共有、データベース化等を行って業務の効率化・合理化を図る。
・地域、他校との「協働する学び」「社会に参画する学び」の事例を蓄積・共有しながら教職員の共通理解と資質向上を図り、社会と協働・参画する実践の発展につなげる。

5 課題その他

・PTA活動の活性化。
・地域資源の活用。